

公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金

事業報告書

(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

1. 事業の概要

(1) 平成23年度の事業概況

第3期の平成23年度は、住友電気工業株式会社から寄付金635,000千円（うち基本財産に500,000千円、運営寄付に135,000千円充当）の寄付を受け、事業として大学講座寄付6件、実施金額84,000千円と、奨学金支給93名、実施金額18,839千円余、学術・研究助成16件、実施金額20,000千円の、総額122,839千円余の事業を実施しました。

		実施金額
(イ) 大学講座寄付	6件	84,000千円
(ロ) 奨学金支給	93名	18,839千円余
(ハ) 学術・研究助成	16件	20,000千円
合 計		122,839千円余

(2) 経理の状況

事業活動収支は、収入面では、寄付金収入として住友電気工業株式会社から635,000千円の寄付を受け、これに基本財産運用収入等を加え、収入合計はほぼ予算通りの643,172千円余となりました。

一方、支出面では、事業費支出は、ほぼ当初計画通りに実施しましたが、海外の現地学生への奨学金支給を一部翌年度に繰り延べたことなどにより、予算対比2,760千円余減の122,839千円余となりました。管理費支出は、会議費、旅費交通費、消耗品費ほかで経費支出の抑制に努めた結果、管理費合計では予算対比1,487千円余減の10,692千円余となり、事業活動支出合計は予算対比4,247千円余減の133,932千円余となりました。

また、投資活動収支は、当初計画通り額面500,000千円の国債を購入しましたが、経済情勢の変化により、投資有価証券取得支出は予算対比5,250千円余減の504,750千円余となりました。

以上の結果、当期収支差額は4,490千円余となり、前期繰越収支差額12,505千円余を加えた16,996千円余を次期に繰り越しました。

指定正味財産増減計算は、今期、基本財産が500,000千円増加し、期末の指定正味財産は1,000,000千円となりました。

(3) 平成23年度事業

平成23年3月28日の第6回理事会で決議・承認された事業計画に基づいて、次の大学講座寄付、奨学金支給、学術・研究助成を実施しました。

(イ) 大学講座寄付

エネルギー・バイオテクノロジー・医療をはじめとする最新テクノロジー探求、地球環境等現代の諸問題への対応、ものづくり対応の基礎教育への取組みなど、優れた研究を行う大学講座に対し寄付を行うもので、平成23年度は、前年度から継続の下記大学講座6件に対して、総額84,000千円の寄付を行いました。

大学名	講座名	金額 (千円)
大阪大学 大学院工学研究科	国際環境生物工学講座	22,500
大阪大学 大学院工学研究科	ものづくり技術者、研究者養成講座	4,000
京都大学 エネルギー理工学研究所	バイオマスの有効活用法の研究	1,500
京都大学 化学研究所	ナノ界面光機能研究	21,000
東京大学 大学院工学系研究科	パワーフロンティア寄附講座	10,000
東北大学 未来医工学治療開発センター	ニューロ・イメージング研究	25,000
合 計		84,000

(ロ) 奨学金支給

日本で就学する外国人留学生、及び海外の大学に在学する現地学生のうち、学業並びに他の分野でも模範となるよう研鑽に努め、専門分野のみならず幅広い知識と見識を求め、大学・大学院においては科学技術分野を専攻する学生を対象として、平成23年度は、選考の結果、下記の奨学生に対し、奨学金を支給しました。

	奨学生	実施額 (千円)	実施時期
日本の外国人 留学生	継続 5名 大阪大学2、東京工業大学2 早稲田大学1	6,000	平成23年4月～ 平成24年3月
	新規 8名 東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大1、名古屋大1、東京工業大学1 早稲田大学1、慶應義塾大1	9,600	平成23年4月～ 平成24年3月
	計 13名	15,600	
海外の大学 現地学生	蘇州大学 20名	820	平成24年3月
	南昌大学 10名	373	平成23年12月
	中山大学 10名	367	平成23年10月
	泰日工業大学 20名	855	平成23年12月
	ハノイ工科大学 20名	824	平成24年3月
	計 80名	3,239	
合計	93名	18,839	

(ハ) 学術・研究助成

科学技術の基礎研究、地球環境等現代の諸問題に関する研究、産業発展に関する研究等科学技術の発展に対して意義が大きいと当財団が認めた研究に助成を行うもので、平成23年度は、応募総数80件の中から選考の結果、16件、総額20,000千円の助成を行いました。

(研究者 50 音順、敬称略、単位：千円)

研究者	所属・役職	研究テーマ	助成金額
臼杵豊展	上智大学 助教	COPDバイオマーカー定量法確立を目指した エラスチン架橋アミノ酸分子の創製	1,450
遠藤洋史	東京理科大学 嘱託助教	動的リンクル空間における局在プラズモン伝播網の 構築と SERS 活性デバイスへの展開	1,000
大山陽介	広島大学 准教授	ピリジン環を電子注入性基とする新型 D- π -A 色素を 用いた色素増感太陽電池の開発	1,300
岡夏央	岐阜大学 准教授	5配位ケイ素原子の立体制御を基盤とする多彩な 有機ケイ素化合物の立体選択的合成	1,500
尾崎俊二	群馬大学 准教授	ガス輸送気相成長法による酸化亜鉛ナノ結晶の作製 と光学物性評価	1,400
小野亮	東京大学 准教授	超極短ナノ秒パルス放電を用いた患部への負担の 少ないプラズマ医療装置の開発	1,200
河合淳	金沢工業大学 教授	SQUID 磁気センサを利用した高感度地磁気地連続 観測システムの開発と有効性の検証	1,400
木寺正平	電気通信大学 助教	狭小観測領域下における超分解能・準遠方界 UWB レーダイメージング技術	950
土居克実	九州大学 講師	バイオミネラルリゼーションを利用した高純度シリカ とリチウム資源回収技術の開発	950
中野徹	東北大学病院 助教	消化管内視鏡治療で利用可能なパルスジェットメス 技術の開発	1,050
中山晋介	名古屋大学 准教授	磁気直線的新 MI 素子を利用した電氣的興奮性細胞 組織での磁気信号計測用装置の開発	1,150
平嶋尚英	名古屋市立大学 教授	開口放出過程をターゲットとしたナノ粒子を用いた プロセス標的薬の開発	1,100
福土謙介	東京大学 准教授	アジア都市を対象とした気候変動下における健康 リスク定量化モデルの構築	1,400
山村和也	大阪大学 准教授	大気圧プラズマを援用した低環境負荷型ナノ精度 一貫加工プロセスの開発	1,400
吉田健	徳島大学 助教	ギ酸からの水素製造の選択的な水熱反応制御の ための塩・金属触媒ハイブリッド法	1,400
吉田拓人	広島大学 准教授	拡張 π 共役系分子創製を指向した多官能性ホウ素 化合物の新合成法	1,350
		合 計	20,000

2. 役員・評議員（平成24年3月31日現在）

(50音順)

役名	氏名	主たる職業
理事長	松本 正義	住友電気工業株式会社 社長
常務理事	賀須井良有	住友電気工業株式会社 人事総務部長
理事	内桶 文清	住友電装株式会社 代表取締役執行役員社長
	藤井 昭	東海ゴム工業株式会社 顧問
	松澤 佑次	財団法人住友病院 院長
	吉川 弘之	独立行政法人 科学技術振興機構研究開発戦略センター センター長
監事	稲山 秀彰	住友電気工業株式会社 常務取締役
	高坂 敬三	色川法律事務所 弁護士
評議員	天野 嘉一	日新電機株式会社 代表取締役会長
	伊東 浩司	甲南大学 スポーツ・健康科学教育研究センター 准教授
	乙幡 範	株式会社テクノアソシエ 代表取締役会長
	木村 壽秀	住友電気工業株式会社 顧問
	菅沼 敬行	住友電設株式会社 社長
	竹中 裕之	住友電気工業株式会社 副社長
	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 代表取締役会長
	山内 直人	大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授

(注) 1. 高江洲文雄氏（評議員）は評議員を辞任により、平成23年6月2日付で退任致しました。

3. 主要な事業経過

平成23年	4月28日	第7回理事会（書面決議） ・平成23年事業（奨学金支給）実施の件
	5月25日	第8回理事会（書面決議） ・第2期定時評議員会招集の件 ・第2期定時評議員会付議事項の件
	6月2日	第9回理事会開催 ・平成22年度（第2期）事業報告及び計算書類等承認の件 第2期定時評議員会開催 ・理事5名選任の件 ・監事2名選任の件 第10回理事会開催 ・役付役員選任の件 ・平成23年事業（奨学金支給）実施の件 ・平成23年度選考委員選任の件
	7月8日	第1回選考委員会開催 ・申請書類閲覧及び選考方法確認の件
	7月19日	第11回理事会（書面決議） ・平成23年度事業（奨学金支給）実施の件
	9月8日	第2回選考委員会開催 ・平成23年度大学講座寄付先選考の件 ・平成23年度学術・研究助成先選考の件
	10月14日	第12回理事会開催 ・平成23年度学術・研究助成の交付対象者 並びに交付金額決定の件
平成24年	3月5日	第13回理事会 ・平成24年度事業計画及び同収支予算承認の件 ・平成24年度事業（奨学金支給）実施の件 ・平成24年度選考委員選任の件